

# とはち通信

※長崎西南部の史蹟・名勝・天然記念物等の紹介通信

第 2 号

※一説によると、かつて長崎西南部一帯を総称して戸ハヶ浦（とはちがうら）と呼ばれた時期がありました。現在、この名は存在しませんが、長崎西南部に対する尊敬の念をこめてこのようなタイトルをつけてみました。

二〇〇八年八月一日 落矢八郎

## ふとした所に：

何と、五輪塔を発見しました。戸町玉蟬園を散策中、戸町小学校付近の駐車場でコーナーポスト代わりに置かれていました。以外でした。私は五輪塔の分野をそれほど勉強していませんので、最初は素通りしてしまいました。が、五輪塔であることを確認すると、次の瞬間、観察作業に入っていました。ここではその報告を行います、先程も言いましたように、私はあまり勉強している方ではないので間違いがあつたらお許しください。また、五輪塔に関する名称は山川出版社の『歴史散歩事典』を引用しておりますので、そちらを参考にしてください。（2P表）

報告する前に五輪塔の説明をしなければなりません。五輪塔とは「地・水・火・風・空の五大を宇宙の生成要素と説く仏教思想に基づいて平安時代に創始されたもの」といわれ、地・水・火・風・空の各部位には四門（発心門・修行門・菩提門・涅槃門）と言われる仏教の教えがあります。そこには梵字を表す必要がありますが、

五輪塔の正面に発心門、右回りに修行門・菩提門・涅槃門と梵字が刻まれています。以上、簡単に五輪塔の説明をしましたが、ここからは発見した五輪塔の説明に移ります。

まず、残存状況ですが、火・水・地輪のみが確認されました。傷みが激しく、その箇所にはセメントが塗られている状況でした。この三つの部位は一石で作られていると思われ、火輪の上部はセメントが塗られています。空・風輪は残存していませんが一石で作られたことが考えられます。次に残存する各部位の状況ですが、火・水・地輪に梵字らしき文字が確認されましたがすべて同じ方向（門）に刻まれています。そもそも梵字とは「梵語を表記するために用いられた古代インドの文字」とされています。初期の五輪塔には各部位の四門はすべてに梵字が施されると聞きましたが、この五輪塔は各部位の一門にしか見ることが

できませんでした。残存する梵字は経年劣化が目立ちますが、その状況から発心門（東方）のラ（火輪）・バ（水輪）・ア（地輪）の可能性が高いと考えます。当然、空・風輪の発心門の梵字はキヤと力が対応するでしょう。次に年代ですが、詳細なところは不明です。と言うか、私の勉強不足のためはつきりとした事は言えないのが現状です。ただ、五輪塔の変遷の歴史から見ると、中世後期から近世のものであるといえるのではないかと思います。五輪塔が作られた最初の頃は各部位の四門に梵字が刻まれています。時代が下ると梵字が一門にのみ刻まれることがあります。これは絶対的とは言えませんが、梵字が省略されたのではないでしょう。また、初期の五輪塔は全体的にメリハリがあり力強いですが、時代が新しくなるとそれが見られなくなる傾向があります。

以上、二点の理由から今回発見した五輪塔は中世後期から近世にかけて製作された可能性が高いと結論づけました。ただし、再三申し上げましたよう

に、私の勉強不足がありますので断定はできません。今回出した結論も時期幅が広いので、例えば、戦国時代なのか、それとも安土・桃山時代なのか、はたまた江戸時代なのかは控えさせていただきます。今後、この資料を調査される方にその真偽を含めて結果を出して頂ければと思います。（文責 落矢八郎）

【引用・参考文献】  
・井上光貞ほか一九九四『図説 歴史散歩事典』山川出版社

お知らせ  
とはち通信に掲載したい方を募集します。長崎西南部の史蹟・名勝・天然記念物に関する事なら何でも大歓迎です！お待ちしております。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

次号は台場関係を報告したいと思えます。（予定は未定ですが・・・）

事務局  
とはち通信  
●ホームページ  
●メール  
h\_ochiya@yahoo.co.jp

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

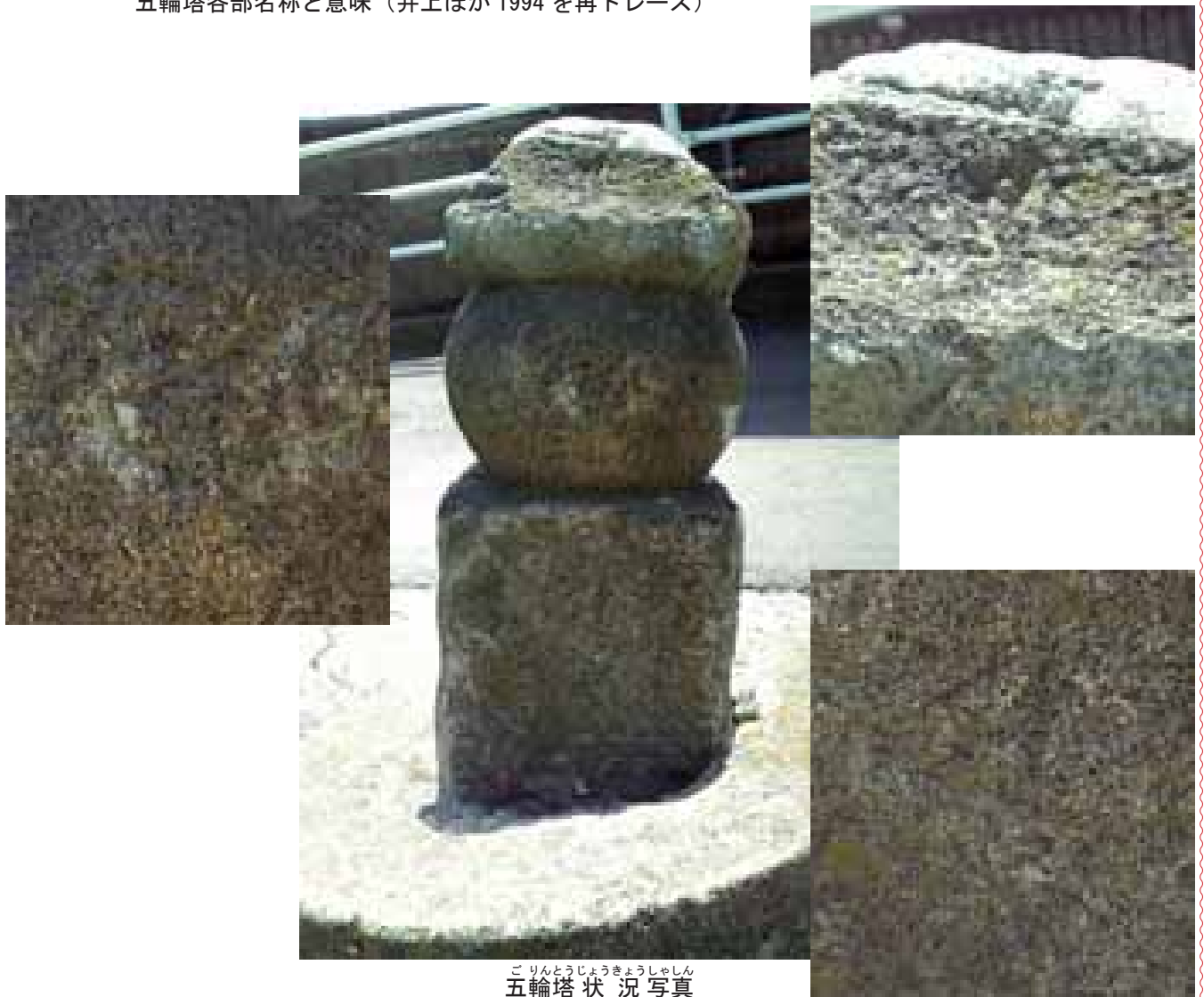
とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

とはち通信はPDF版も用意しておりますので、ご希望の方は連絡をお願いします。

	梵字	五大	形式	読み	字義	五気
	阿 彌 陀 佛	空輪	圓	キヤ	虚空	土用
		風輪	半月	カ	因業	冬
		火輪	三角	ラ	塵垢	夏
		水輪	円	バ	言説	秋
地輪		方	ア	不生	春	

今回、紹介した五輪塔は状態が決して良いものではありませんでした。かろうじて四門のうちの一門に梵字が認められました。表面観察の結果、残りの三門はもともとなかったと思われるですが、これは製作段階から省略したものと考えられます。下の写真は紹介した五輪塔の状況写真です。石の表面は劣化が目立つため、どのような形の梵字が刻まれていたのかは断定できません。しかし、他で確認されている類似した五輪塔から、発心門の可能性が高いと思われる（左図参照）。（落矢八郎）

五輪塔各部名称と意味 (井上ほか 1994 を再トレース)



五輪塔状況写真